

## 岩国市の要介護認定に関する調査(令和7年度 要介護認定DX化事業)

### ①調査の概要

調査対象: 岩国市内の居宅介護支援事業所、地域密着型介護老人福祉施設、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院、地域包括支援センターの介護支援専門員等

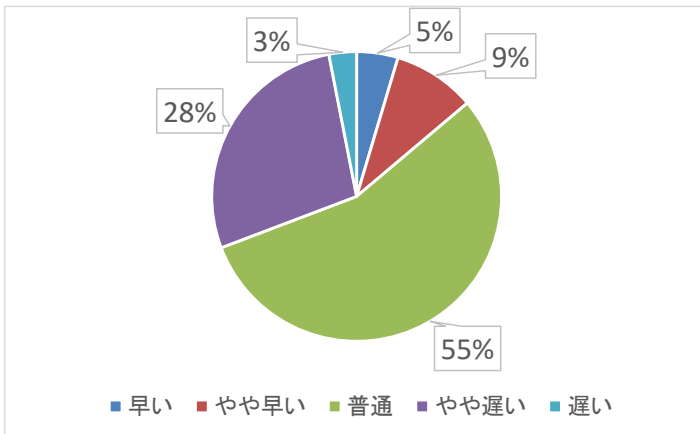
調査方法: インターネットによる回答

調査期間: 令和8年3月19日～令和8年3月31日

回収結果: 66人からの回答あり

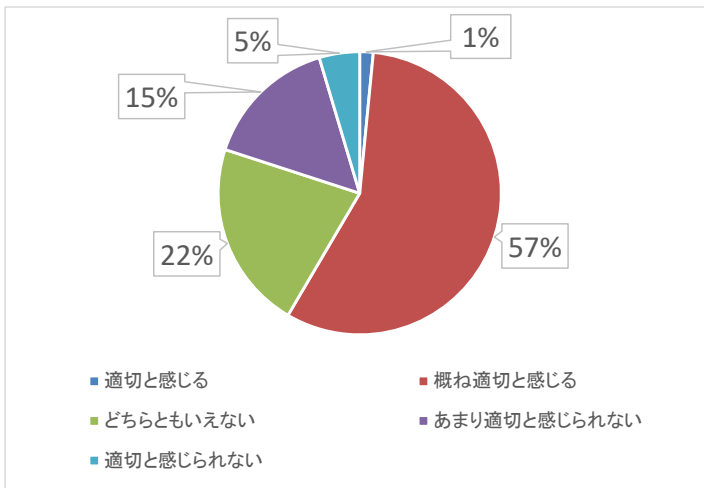
### ②アンケートの結果

問1 介護保険法により、介護認定は申請があった日から30日以内に行うものとされています。現在の岩国市の認定までの期間について、どのように感じられますか。



・半分以上が「普通」と回答。  
 ・「早い」を100、「遅い」を0として平均値を集計したところ、結果は46.15であり全体的にはやや遅いと感じられている。

問2 岩国市における認定結果が、申請者の状態に見合った適切な介護度と感じられますか？

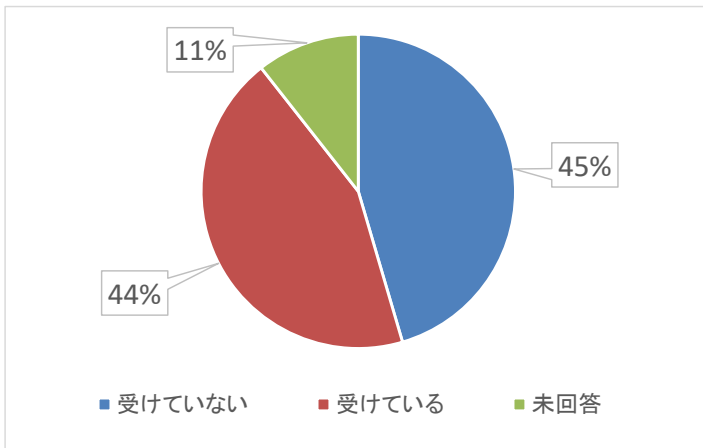


・半分以上が「概ね適切と感じる」と回答。  
 ・「適切と感じる」を100、「適切と感じられない」を0として平均値を集計したところ、結果は58.85であった。  
 ・「適切と感じる」と回答した人が少なく、改善する余地があると感じている層が大多数であった。

認定決定までの期間や認定結果についての満足度  
**52.5% (問1と問2の平均値)**

※以下の質問以降は居宅介護支援事業所・(地域密着型)介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護医療院に所属する介護支援専門員等の方のみの回答

問3 現在、認定調査の委託を受けていますか。



・「受けている」、「受けていない」の回答がほぼ同数であった。認定調査の受託は一定数いるが、積極的ではない層が多い可能性がある。

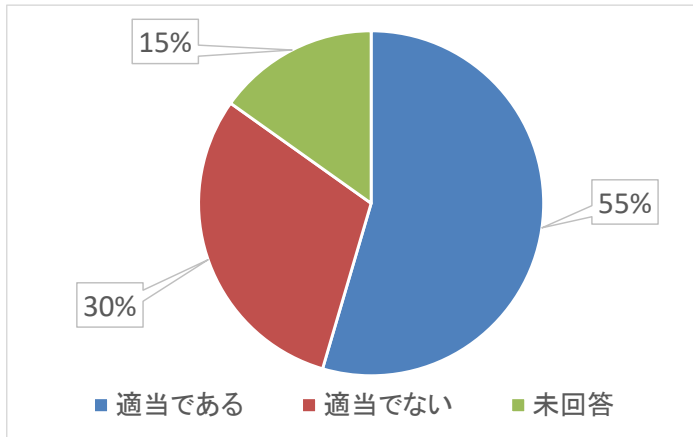
問3-1 認定調査を受託するうえで、困っている点があれば記入してください。

- ・期限・スケジュールに関する負担  
(提出期限が短い、日程調整や記録の負担など)
  - ・書類作成、事務作業の負担  
(時間がかかりすぎる、通常業務を圧迫するなど)
  - ・主治医意見書に関する課題  
(調査を急いでも主治医意見書の提出が遅いと感じる)
  - ・評価、報酬に対する疑問  
(報酬が少ない、ケアマネの業務として正當に評価されているのかなど)
  - ・運用面での要望  
(テキストが最新版でない、更新時の変更点分かる資料が欲しいなど)
- 困りごととは特になし→6人の回答があった。

問3-2 認定調査を受託することができない理由があれば記入してください。

- ・時間的余裕、人員の不足について  
(時間が取れない、通常業務が多忙、独り運営のため負担が大きい)
  - ・関係性への懸念  
(客観的判断が難しい、結果によって家族との関係が難しくなる可能性がある)
  - ・立場、所属による制約  
(包括支援センター勤務、施設ケアマネのため受託できない)
  - ・必要性を感じない  
(市の調査が充足していると感じる)
- 余裕がない、という内容の回答が8人と多かった。

問3-3 岩国市の認定調査委託料(1件あたり 在宅3,850円 施設2,750円)は適当と感じられますか。



・半数以上が「適当である」との回答だった。

問3-4 岩国市の認定調査委託料が適当でないと感じられる理由があれば記入してください。

- ・時間、手間に見合わない  
(調査、記録、修正、提出までに時間がかかる)
- ・ケアマネ個人に還元されない仕組み  
(委託料が事業所収入となり、調査を行った個人にメリットがない)
- ・負担が大きい  
(専門的スキルが必要など)
- ・他自治体との比較、金額妥当性への疑問  
(他市町村と比較し平均的なのか分からないなど)

ほぼ全ての回答が、時間・手間に見合わないという内容を含んでいた。  
金額そのものへの極端な否定は少ないが、理由を見ると課題が多い。